



株式会社 ピクセラ

2006年9月期第1四半期決算説明会



四半期決算概要と通期見通し

事業展開の状況

事業の展望

2006年9月期第1四半期実績(連結)

(単位: 百万円、%)

	05年9月期 Q1		06年9月期 Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	1,482	100.0	1,861	100.0	378	125.6
売上総利益	345	23.3	367	19.8	22	106.4
営業利益	△101	△6.8	△118	△6.4	△17	—
経常利益	△157	△10.6	△149	△8.0	8	—
当期純利益	△195	△13.2	△159	△8.6	35	—



2006年9月期第1四半期実績(単体)

(単位: 百万円、%)

	05年9月期 Q1		06年9月期 Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	1,482	100.0	1,861	100.0	378	125.6
売上総利益	345	23.3	352	18.9	6	101.9
営業利益	△99	△6.7	△128	△6.9	△29	—
経常利益	△121	△8.2	△111	△6.0	10	—
当期純利益	△159	△10.8	△121	△6.5	37	—



2006年9月期第1四半期業績のポイント

◆製品売上

(キャプチャー製品)

□計画数量の未達

- ・地デジ・アナログ製品ともに
販売数量、計画未達

□計画単価の維持

- ・地デジ、ノート向け単価維持
- ・アナログデスクトップ単価弱含み

(半導体製品)

□計画数量、単価達成

◆ソフトウェアロイヤリティ

(デジカメ等バンドルソフト)

□計画数量の達成

□計画単価弱含み

(TVアプリ)

□計画数量未達

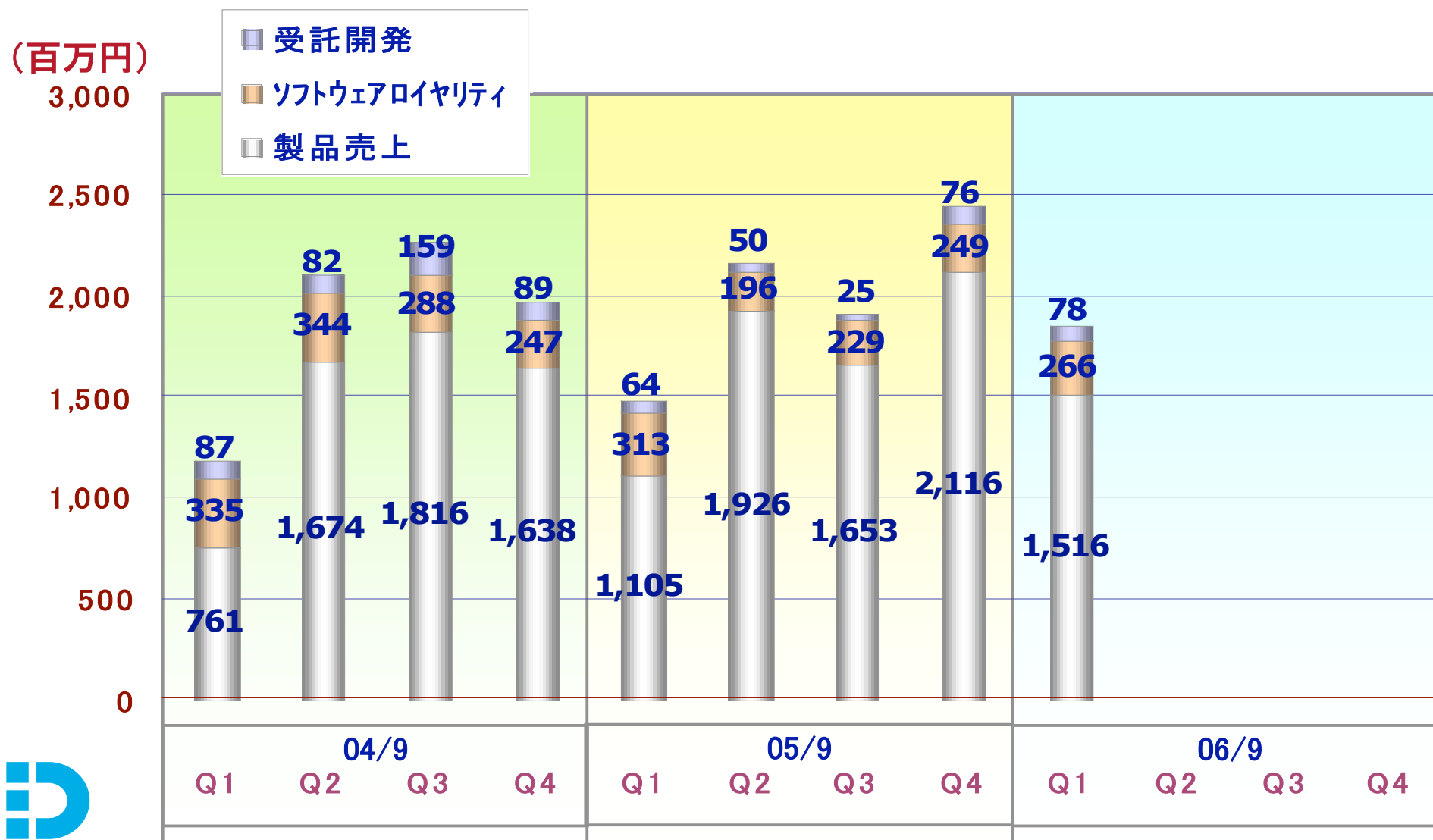
□計画単価の維持

	数量	単価
ハードOEM 製品		
ソフトウェア ロイヤリティ		



※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

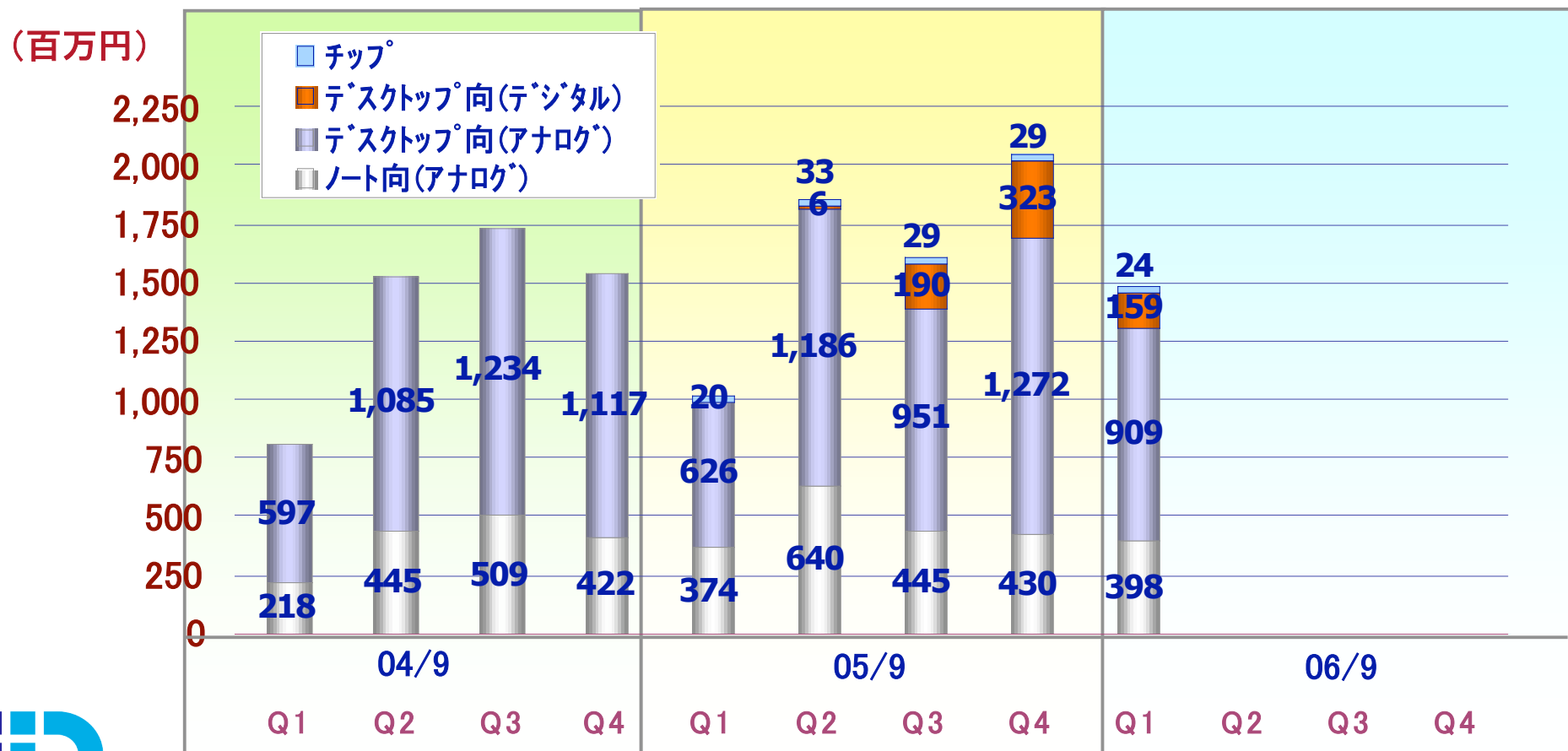
製品群別売上高推移(単体)



※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

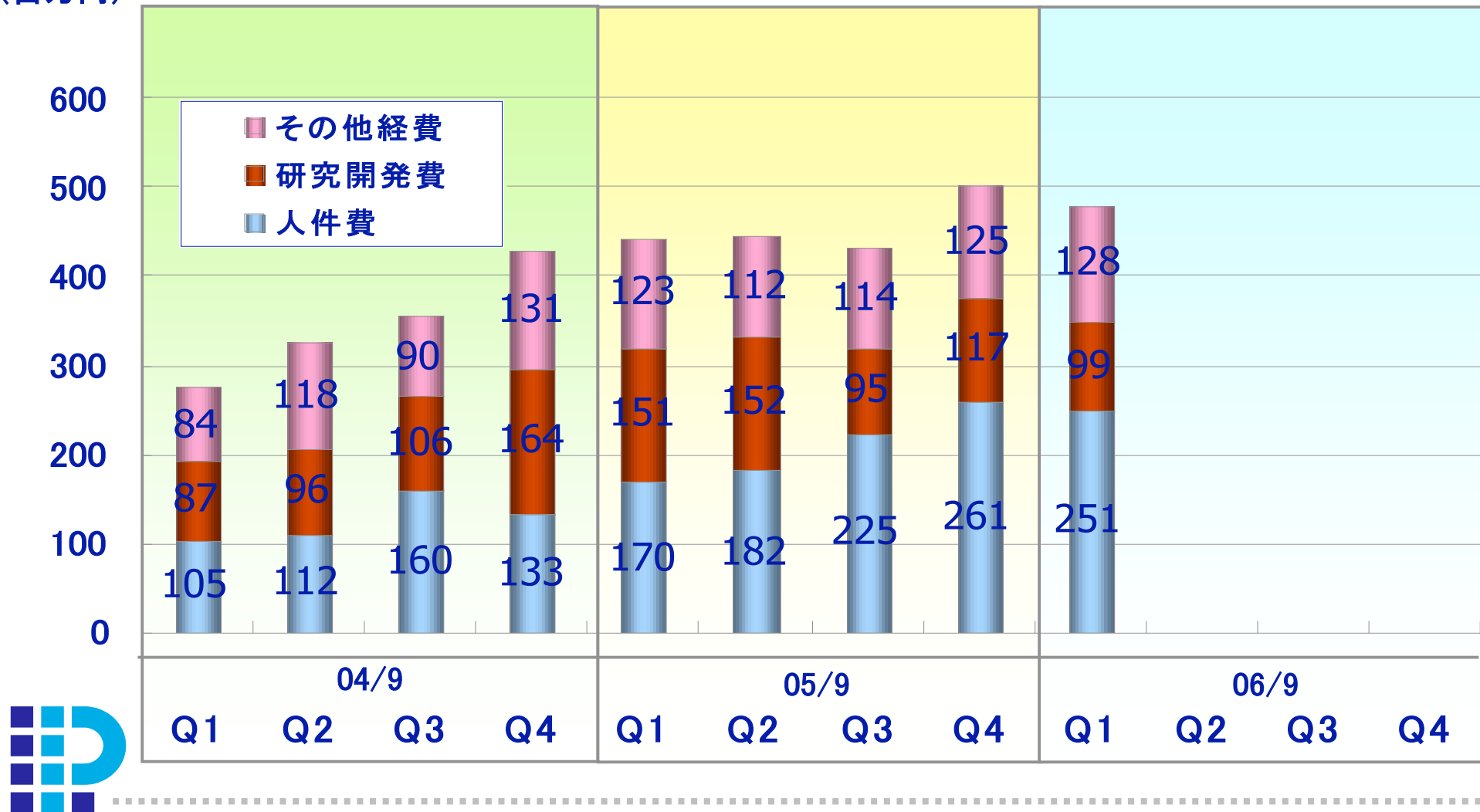
ハードOEM向け種別別（単体）

【ハードOEM:デスクトップ/ノート別売上高構成】



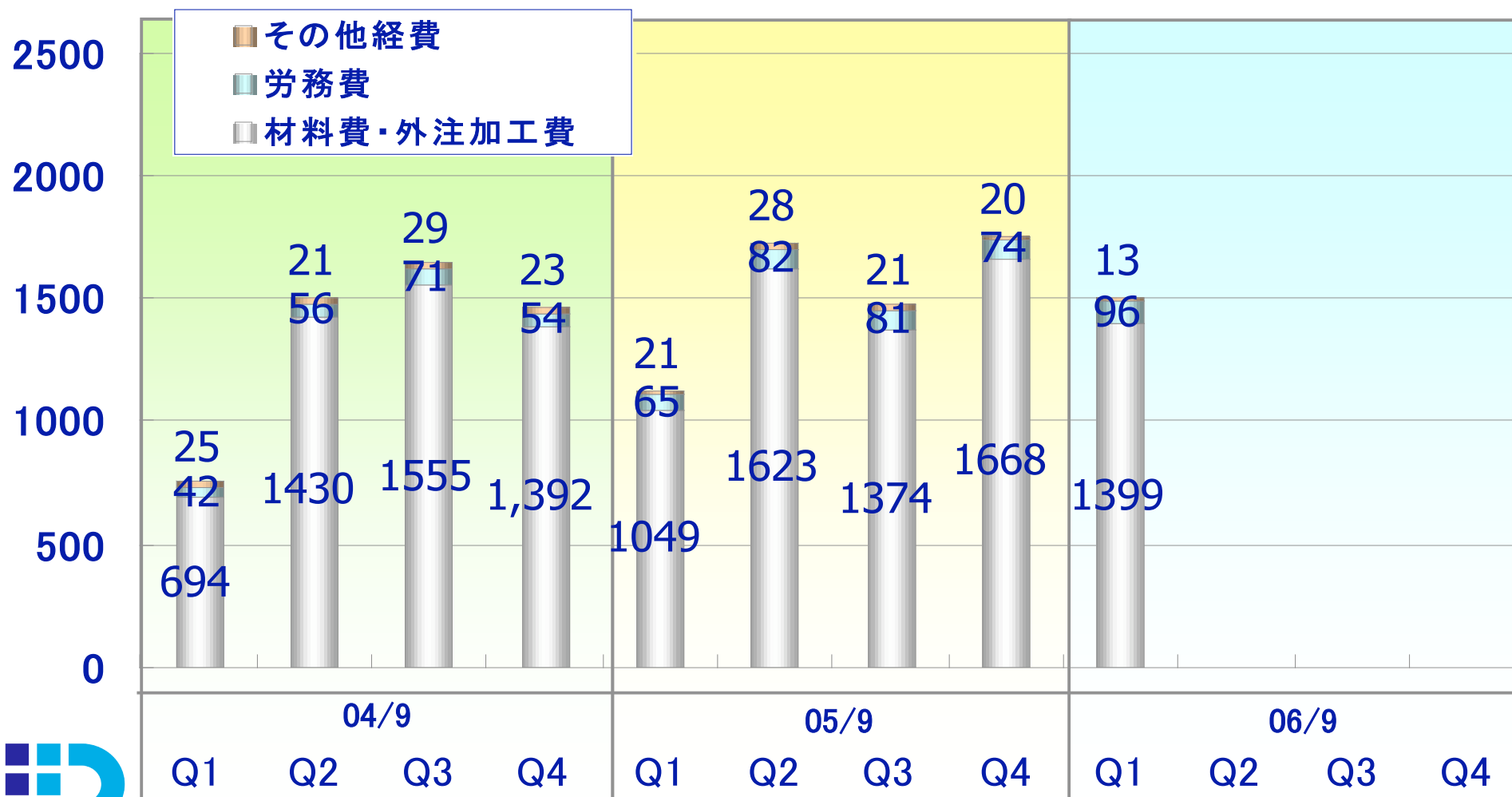
販管費の推移(単体)

(百万円)



原価の推移(単体)

(百万円)



2006年9月期見通し(連結)

(単位:百万円、%)

	2005年9月期		2006年9月期(予定)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,006	100.0	10,201	100.0	2,195	127.4
売上総利益	1,906	23.8	2,239	22.0	333	117.5
営業利益	62	0.8	194	1.9	132	311.3
経常利益	△110	△1.4	43	0.4	153	—
当期純利益	△155	△1.9	△29	△0.3	126	—



2006年9月期見通し(単体)

(単位:百万円、%)

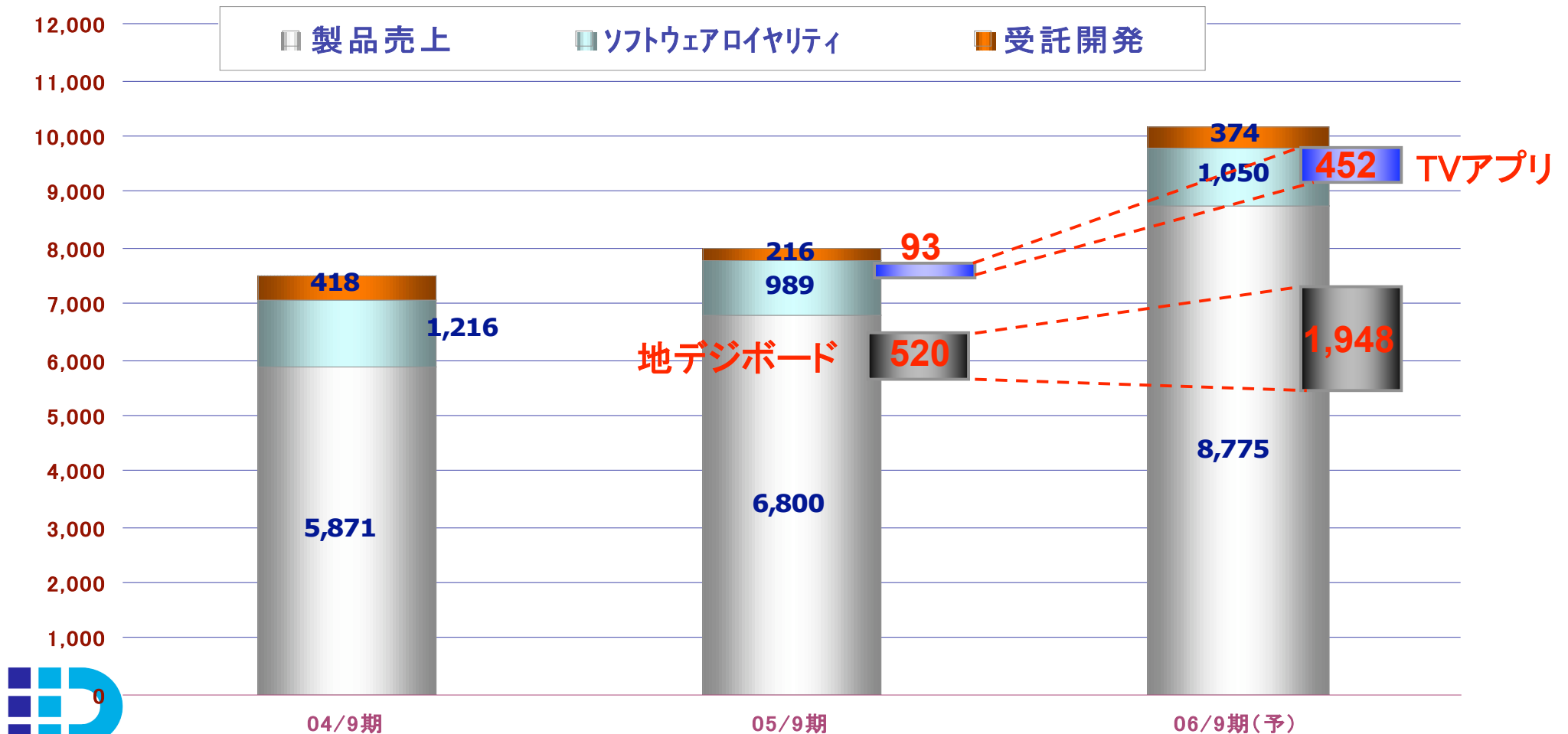
	2005年9月期		2006年9月期(予定)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,006	100.0	10,201	100.0	2,195	127.4
売上総利益	1,894	23.7	2,239	22.0	345	118.2
営業利益	61	0.8	181	1.8	119	293.5
経常利益	71	0.9	151	1.5	79	211.2
当期純利益	26	0.4	79	0.8	52	296.4



売上高の見通し(単体)

【製品売上高構成推移】

(百万円)



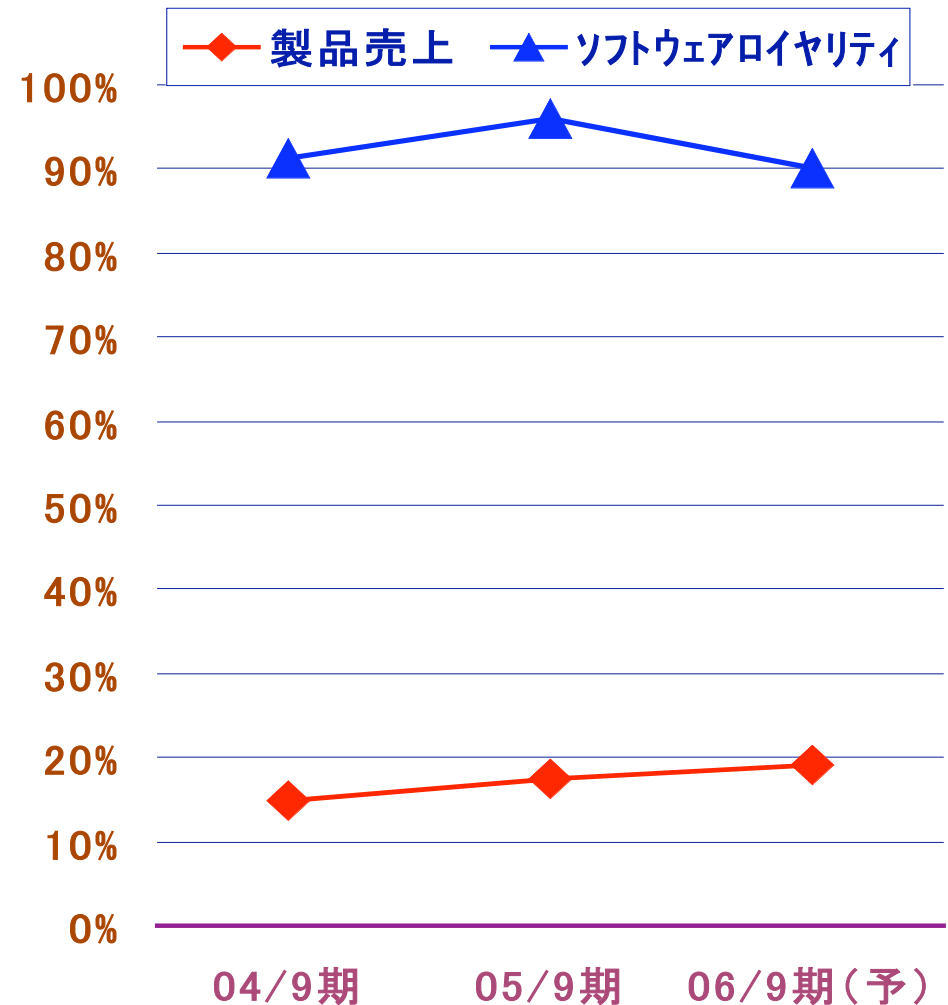
※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

原価及び粗利の見通し(単体)

【原価の推移】



【粗利率の推移】



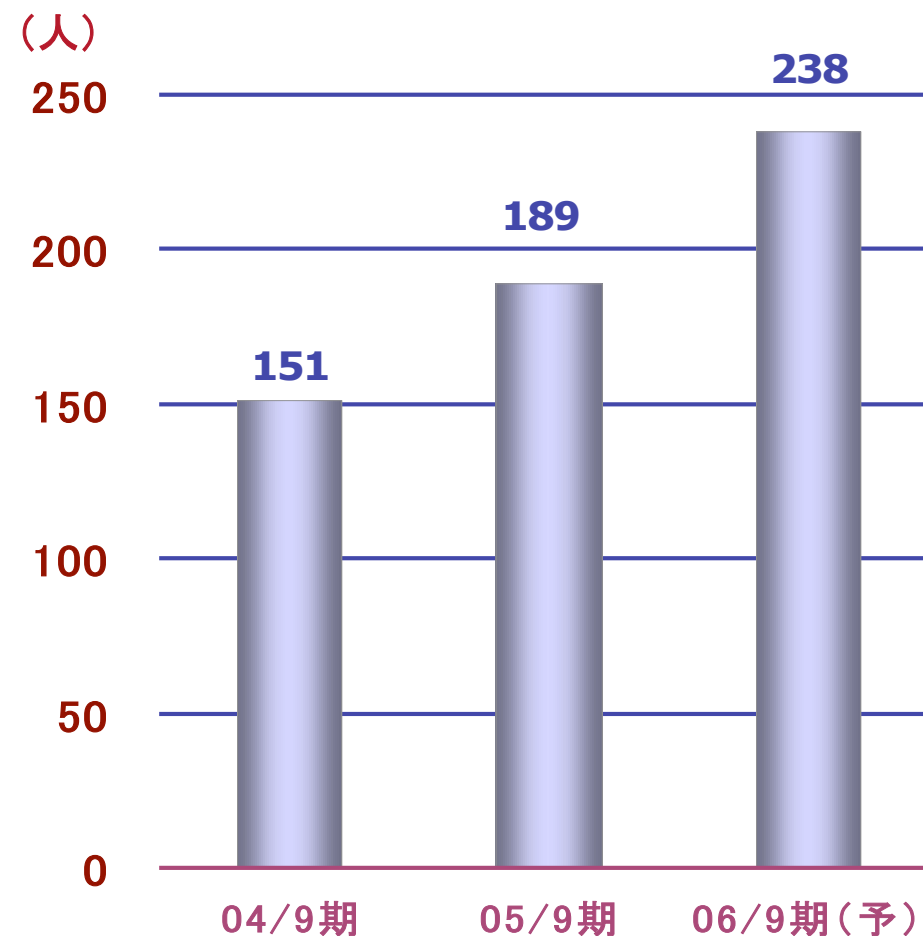
※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

販管費及び人員計画の見通し(単体)

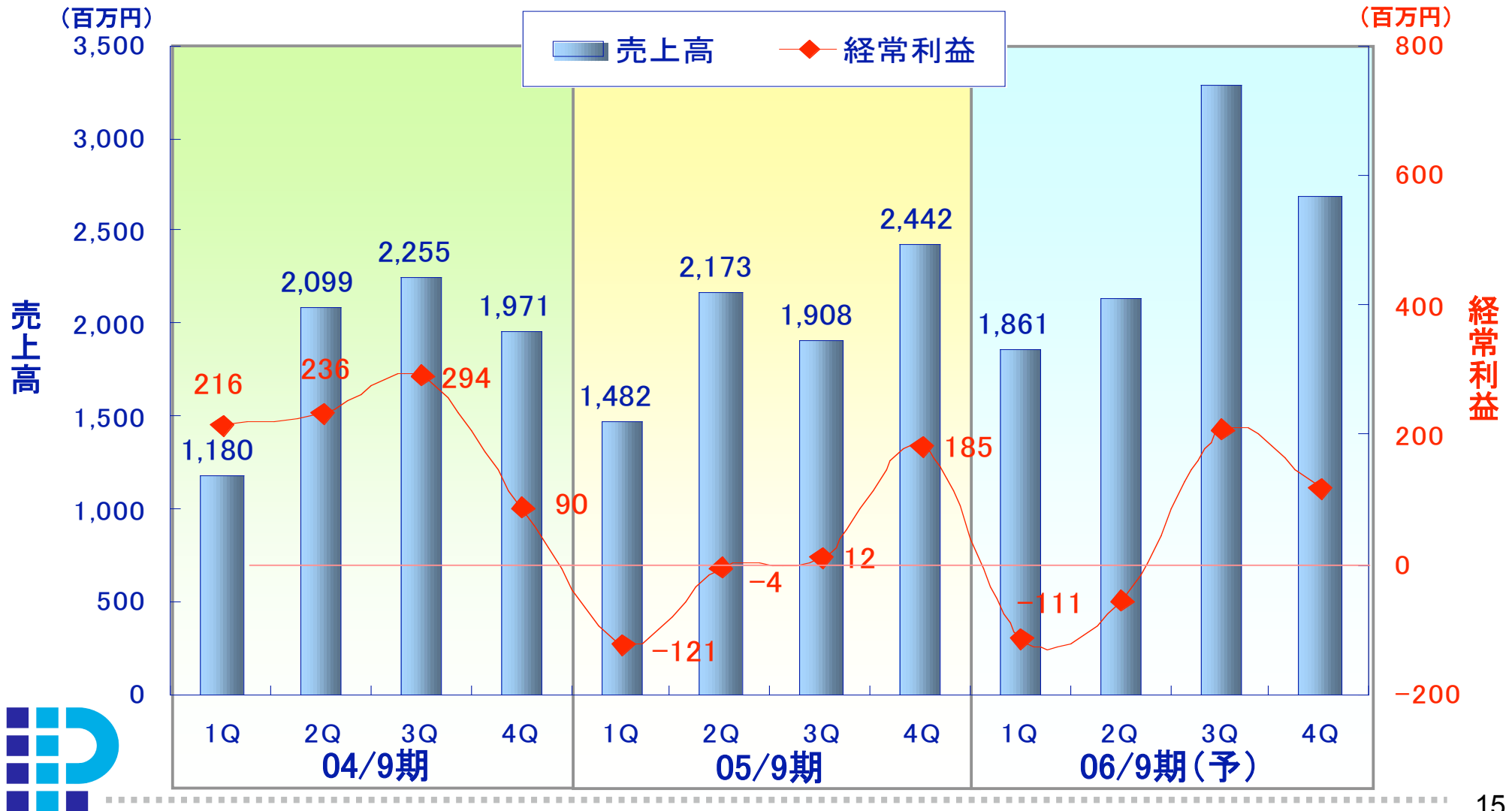
【販管費】



【人員数】



売上高・経常利益推移(単体)





四半期決算概要と通期見通し

事業展開の状況

事業の展望

2006年9月期第1四半期の実績

05年 12月 コンテンツ配信事業を開始

(ピクセラサウンドブックを配信サイトでダウンロード販売開始)

単体受信機として、国内初

ワンセグ／デジタルラジオ／FMラジオの3波対応モバイル受信機を開発

iPod用ムービーファイル変換ソフト(monoConverter)を発売



06年 1月 ImageMixer 3 をリリース開始



2月 (RfStream)デジタル・アナログ両放送受信対応シリコンチューナー
TW-1000シリーズを開発



今期の展開

■ハードウェアの展開

- ・TVキャプチャーボードのシェア拡大
- ・地上デジタルTVキャプチャーボード売上高推移
- ・地上デジタルTVキャプチャーボードの展開
- ・デジタルラジオ・ワンセグの展開

■ロイヤリティの展開

- ・ニューメディア・カム向けアプリ
＋ TV視聴アプリの拡大

■コンテンツビジネスの展開



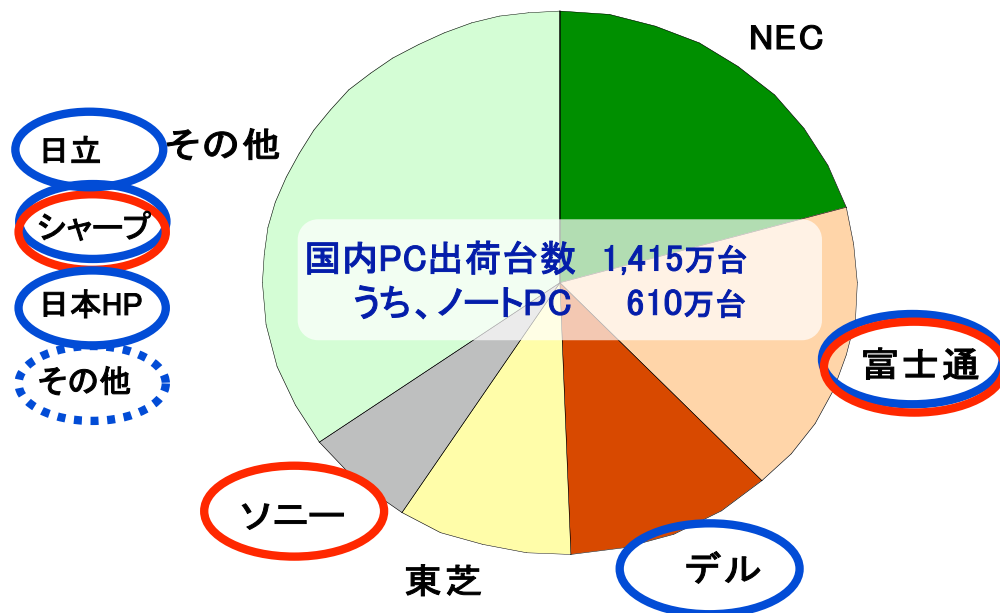
ハードウェアの展開

TVキャプチャボードのシェア拡大

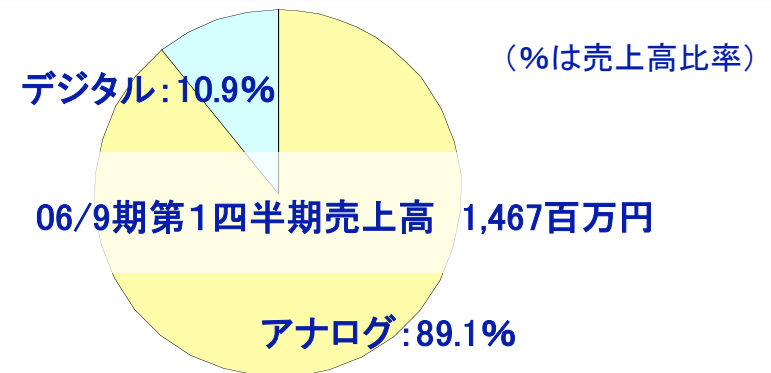
パソコンの国内出荷シェアの状況

【2005年】

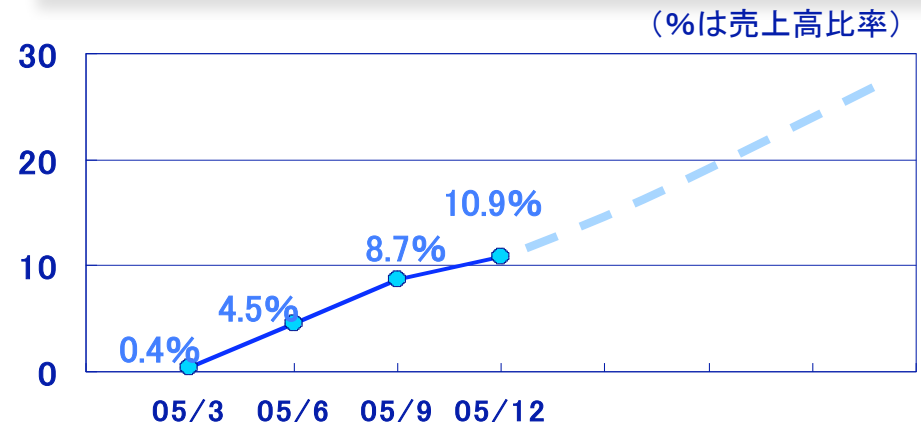
(資料)ガートナー データクエスト
(暫定値)



TVキャプチャボードのデジ・アナ比率



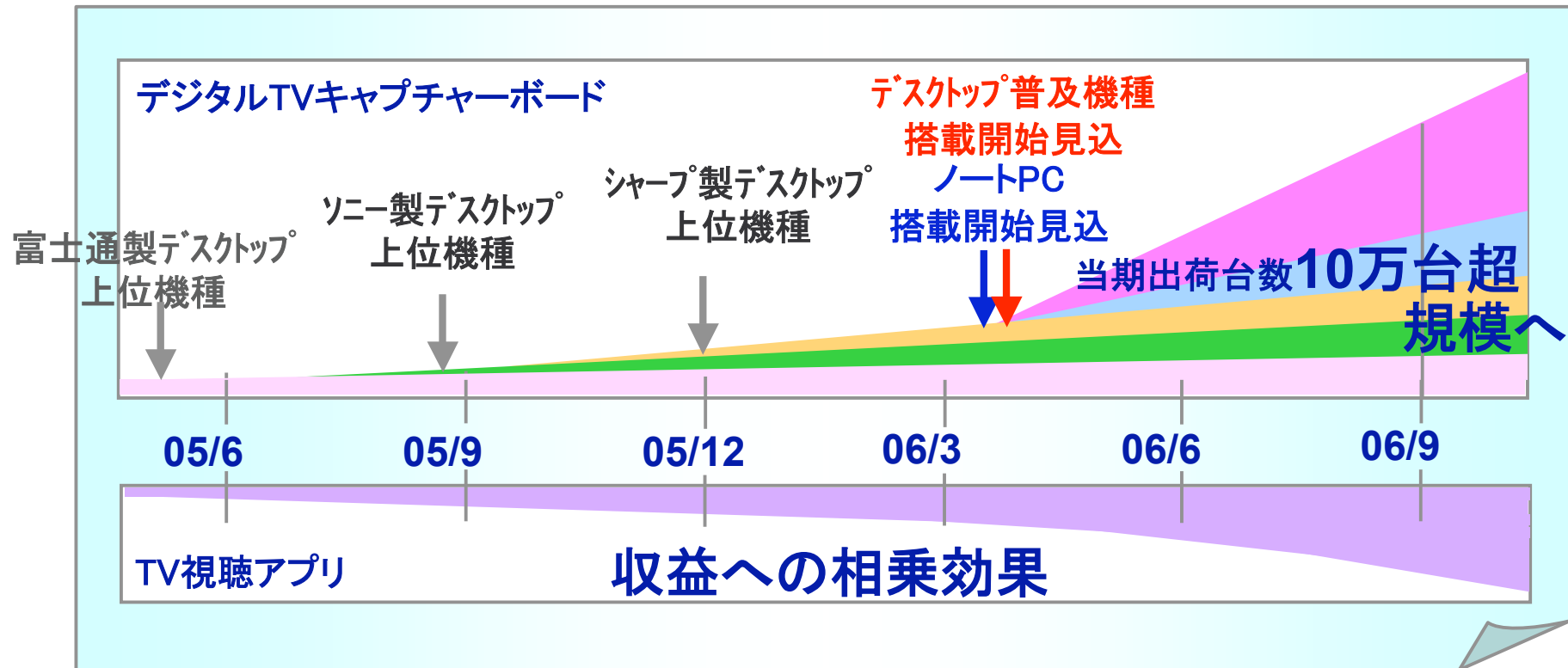
デジタルTVキャプチャボードの推移



○ ピクセラOEM供給先(アナログ)
○ ピクセラOEM供給先(デジタル)

ハードウェアの展開

地上デジタルTVキャプチャーボード売上高推移



PCI接続デスクトップPC用
(PIX-DTTV/P1W)



デジタルテレビ視聴アプリ
(StatinTV Digital)



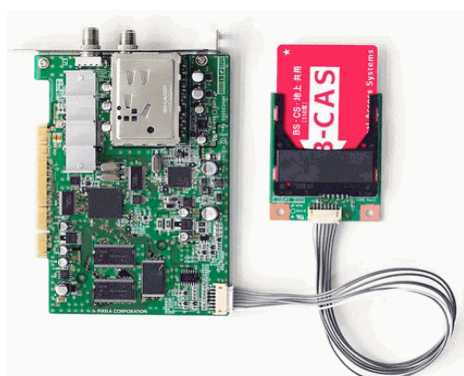
miniPCI接続ノートPC用
(開発中)



ハードウェアの展開

地上デジタルTVキャプチャーボードの展開

メーカー名	製品種類	供給開始時期
富士通	デスクトップ	2005/4
ソニー	デスクトップ	2005/9
シャープ	デスクトップ	2005/10
—	ノート(開発中)	2006/春以降



PCI接続デスクトップPC用 (PIX-DTTV/P1W)



富士通様から

「ハイビジョン録画機能付PC用地上波デジタルチューナーの早期開発」

に関して感謝状を受賞

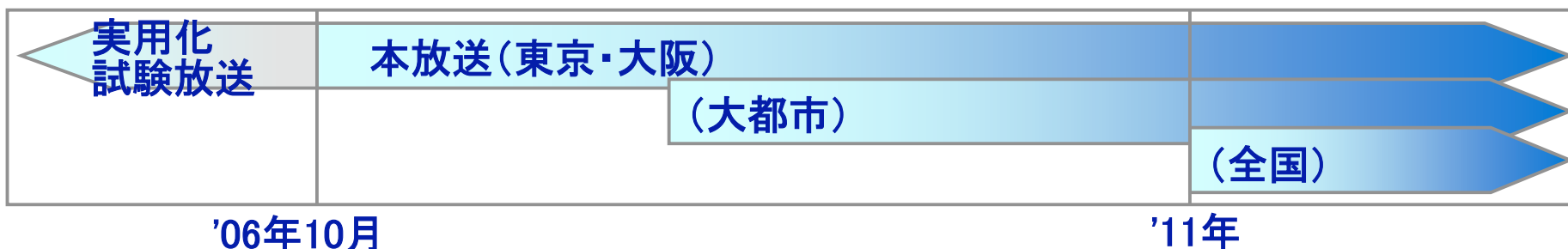


デジタルラジオ・ワンセグの展開

デジタルラジオ放送の今後の展開

06年1月10日報道より

06年10月デジタルラジオ本放送開始、予定(4月開始)より半年遅れ



デジタルラジオ受信機にワンセグ受信機能を付加して
先行発売

携帯電話等、小型液晶搭載
機器へのODM供給を検討



放送局向けワンセグ用
開発機材として出荷へ



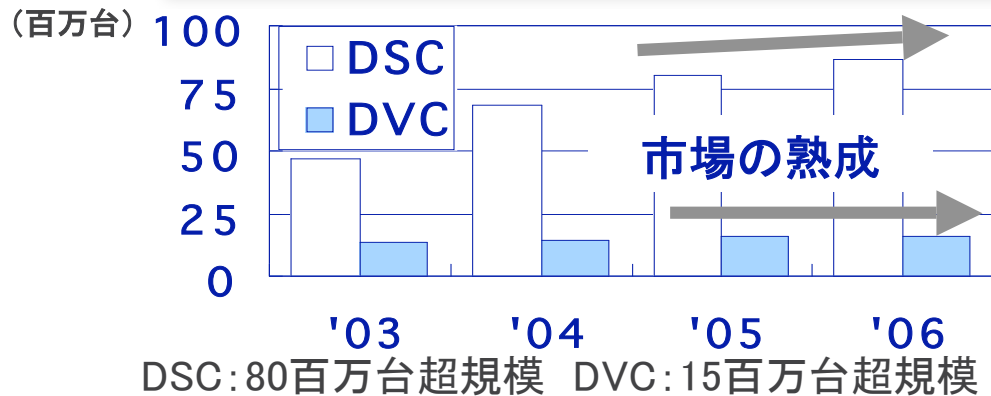
ノートPC用機器として
OEM供給を検討



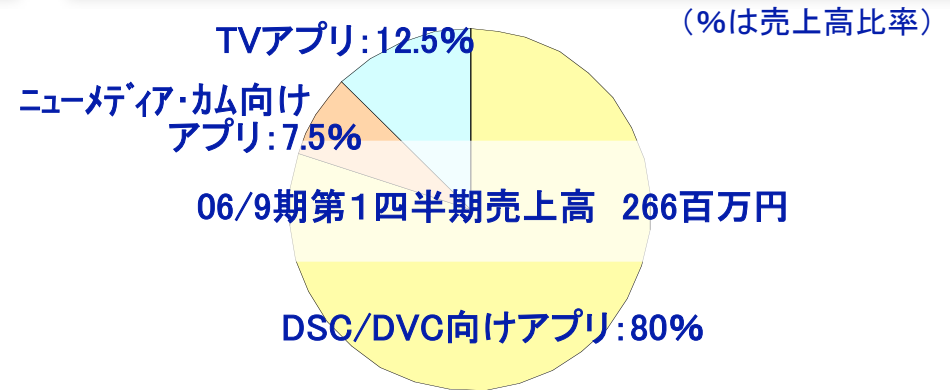
ロイヤリティの展開

ニューメディア・カム向けアプリ + TV視聴アプリの拡大

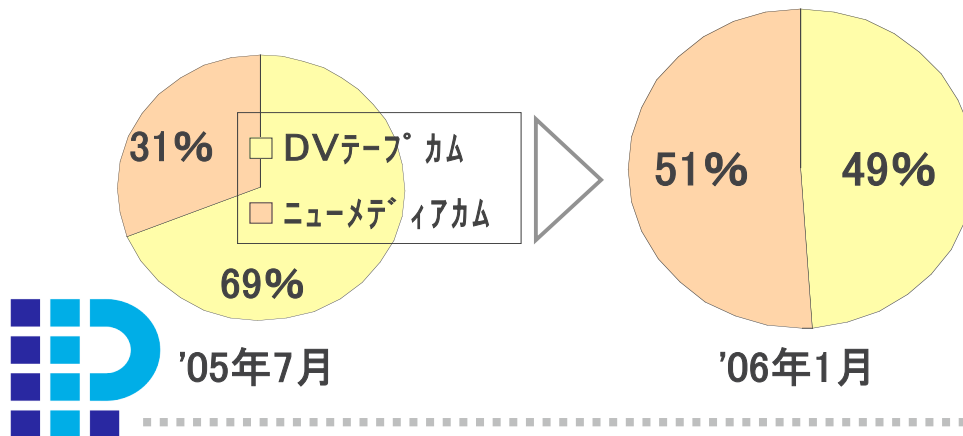
DSC/DVCの世界生産台数の推移



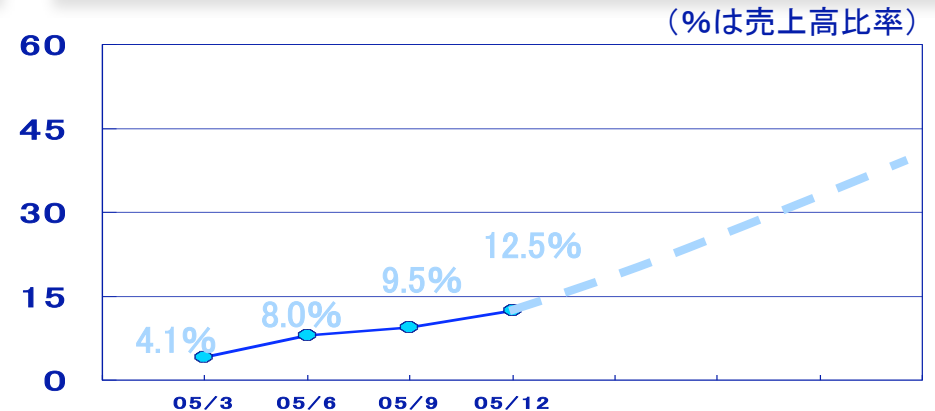
ロイヤリティの構成比率



DVCの国内媒体別シェアの推移



TV視聴アプリの推移



ロイヤリティの展開

「ImageMixer™」シリーズの最新バージョン ImageMixer™ 3 をリリース



HDDカム、DVDカムなどの
ニューメディア・カムへの
取り組み強化

バンドル

JVC・HDDムービー「Everio」

日立・DVDカメラ「Wooo」

ソニー・HDDカム
「ハンディカムSR100」

パナソニック・DVDカム
「DVD Palmcorder」(北米向け)

ニューメディア・カムに対応
(MPEG-2動画対応強化)

コンテンツビジネスの展開

ピクセラサウンドブックを配信サイトでダウンロード販売開始

音声朗読本(一部商品は立体音響特殊効果をフィーチャー)を音楽配信サイトで販売

リッスンジャパン(<http://listen.jp/>)

OnGen(株式会社 USEN <http://www.ongen.net/>)

Audible inc. (iTunes Music Store)



05年12月から、ドラマコンテンツ・朗読コンテンツ25タイトルを順次リリース



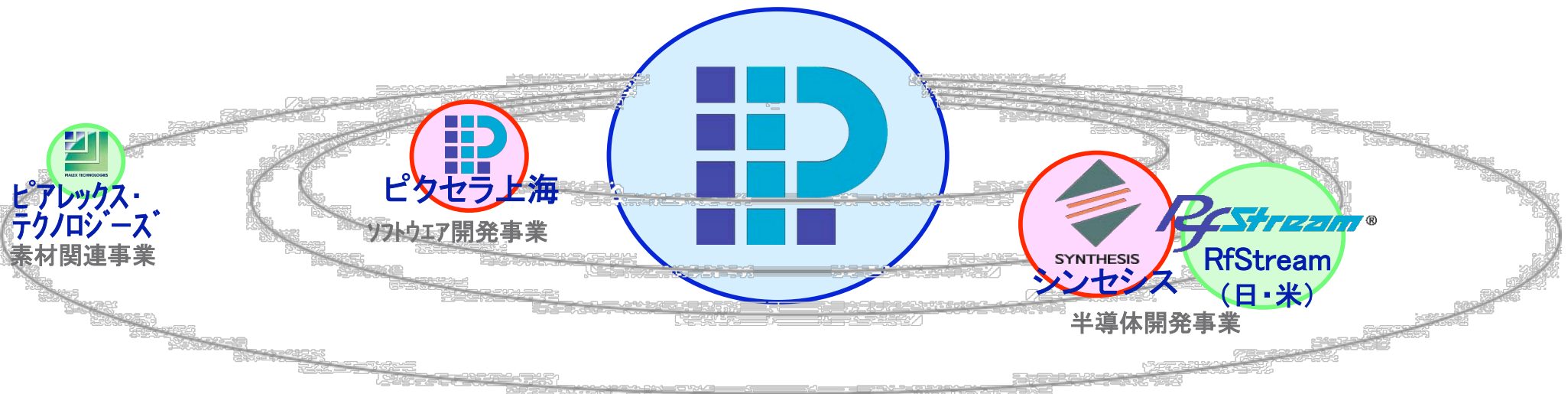
ハードウェア・ソフトウェアビジネスの付加価値をさらに高めるビジネス展開



四半期決算概要と通期見通し
事業展開の状況
事業の展望

ピクセラのグループ戦略

ピクセラを中心とした相互に技術補完が可能な
企業グループづくりを推進



1/31、シンセシスへの払込完了(第三者割当増資引受け)



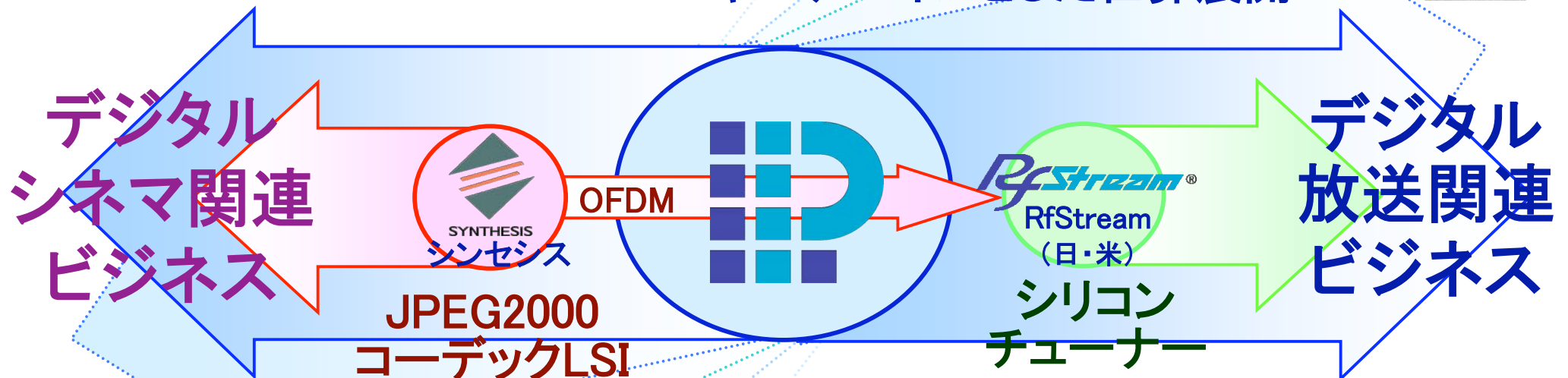
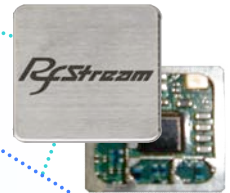
シンセシスについて

システムLSIの開発および設計を目的として設立された産学連携ベンチャー
大阪大学や京都大学の大学教授を研究開発の中核として構成
MPEG-4やH.264、JPEG2000のコーデックを中心とした画像関連、デジタル
放送復調回路およびアナログ回路設計などに関する技術資産を保有

今後のビジネス展開

グループ内での技術補完によるビジネスの確立

シリコンチューナーを
キーデバイスとした世界展開



JPEG2000コーデック等の画像関連、
回路設計関連技術を基にした
新ビジネス分野の開拓

OFDM:
直交周波数分割多重システム、
無線などで用いられるデジタル
変調方式の一つ。
ここでは、デジタル放送復調回路を
指しています。



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

